

愛知県のワーク・ライフ・バランス推進施策について

1 「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動 2022」

労働団体、経済団体、行政機関等を構成員とする「あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会」としての取組のひとつで、官民一体となって、ワーク・ライフ・バランス推進の気運醸成を図る。テレワークを始めとする多様な働き方や、年次有給休暇の取得促進、時間外労働の削減や、「県内一斉ノー残業デー」を始めとする定時退社などの取組を呼びかけ、県内事業所の賛同を募る。

○ 募集期間 令和4年7月1日（金）から11月30日（水）まで

○ 賛同を募る取組

A：多様な働き方に取り組みます。

B：年次有給休暇の取得促進に取り組みます。

C：時間外労働の削減に取り組みます。

D：定時退社に取り組みます。

E：「新しい生活様式」を踏まえた職場環境整備に取り組みます。

F：育児、介護、病気や不妊治療との両立支援や離職した人の復帰支援に取り組みます。

G：メンタルヘルス対策に取り組みます。

H：管理職や従業員の意識改革に取り組みます。



【令和3年度賛同事業所】 45,200 事業所

2 「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」登録制度

従業員が仕事と育児・介護などを両立できるよう積極的に取り組んでいる企業に対して、「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」として登録を促すとともに、登録企業に対する各種支援事業を行う。

○ 「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」登録

○ 専用サイト「ファミフレネットあいち」による情報提供

○ 特に優れた取組を実施している登録企業の知事表彰

○ ワーク・ライフ・バランス普及コンサルタントの派遣



<愛知県ファミリー・フレンドリー・マーク>

【令和3年度総数】 1,579 件（令和4年3月末現在）

【 同 新規登録】 94 件

3 タウンミーティングの開催

県内におけるワーク・ライフ・バランスに対する認識を更に深めるため、県内市町村と連携し、地域の実情に応じたテーマを設定してパネルディスカッション等を行う。

○回数：2回（尾張、三河地域各1回）

○規模：各回100人（対面・オンライン）

※第1回は、11月に「愛知県内一斉ノー残業デー」のPR事業として、開催予定

4 イクメン・イクボスの普及

育児等に積極的な男性「イクメン」や、部下のワーク・ライフ・バランスを応援しながら組織としても成果を挙げる上司「イクボス」の普及拡大を図り、社会全体でワーク・ライフ・バランスの実現に向かう気運を盛り上げる。

○労使団体・有識者等からなる「あいちイクメン・イクボス応援会議」の開催

○イクメン・イクボス企業賞の受賞企業や、その取組の紹介等を行う「あいちイクメン・イクボス応援サイト」による情報発信



5 仕事と介護の両立支援

今後、要介護者の急増に伴う労働者の離職を防止するため、主に中堅企業・中小企業向けに、仕事と介護の両立支援の必要性に対する理解促進を図るセミナーを開催する。

○回数・規模：3回（尾張、西三河、東三河地域）各30人程度

6 仕事と治療の両立支援

仕事と治療の両立支援への理解を促進させるため、両立に取り組む事業所や両立経験者へのインタビュー内容等をまとめた取組事例集を作成し、県内事業所等に配布する。

○発行部数：2,000部（発行1回 時期2月）

7 テレワーク導入・定着支援

令和3年3月に策定した「あいちテレワーク推進アクションプラン」に基づき、中小企業のテレワーク導入率 30%を目標として、令和5年度までの3年間で集中的な取組を実施する。

【令和3年度導入状況】 19.3%

(1) テレワークサポートセンターの設置運営

テレワークに関する相談、機器操作体験、情報提供等をワンストップで実施するとともに、テレワーク体験が可能なモデルオフィスを併設する。

○ 開設日：令和3年4月28日（モデルオフィスは、令和3年8月18日）

○ 場 所：名古屋市中村区名駅3-21-7 名古屋三交ビル2F

○ 内 容：相談対応、機器操作体験、情報提供
テレワーク導入企業事例紹介：10社
アドバイザー派遣：105回（35社×3回）
テレワーク試行支援：30回（10社×3回）
サテライトオフィス見学・体験会：2回
テレワーク・モデルオフィスの設置運営



【令和3年度実績】

相談件数：1,310件（来所：302社、電話：927件、メール等81件）

アドバイザー派遣：127回（42社）

出張相談会（メッセナゴヤ出展）：相談136件、セミナー2回・58名参加

サテライトオフィス見学・体験会：3回・39名参加

テレワーク・モデルオフィス利用者：1,417名

(2) テレワーク・スクールの開催

テレワークの導入・活用のポイントを学ぶ講座とテレワークツールの体験を組み合わせたセミナーを開催する。

○ 回 数（実施場所）：6回（名古屋4回、三河2回）

○ 規 模：各回40人（対面・オンライン）